

与良川通信

～ 第36号～

令和 5年 3月 1日 発行



3/4
開催

渡良瀬遊水地ヨシ焼き

案内はコチラ！



工事名：栃木南部農業水利事業
与良川統合排水機場建設工事
発注者：農林水産省 関東農政局
受注者：前田建設工業株式会社

関東農政局 HP
バックナンバー公開中



「安全」「環境」「品質」を最優先して作業を行ってまいります。
ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、何卒宜しくお願いします。
ご意見、ご感想がありましたら、お気軽にお声掛けください。

令和 5年 1月末現在
工事進捗率： 87.7%

【文責】
田野 伸午



はじめに

1/30 渡良瀬遊水地で火事が発生しましたが、
排水機場側には延焼しませんでした。
ひかる・レイのペアも鎮火後無事巣塔に戻り、
元気に現場の周りを飛び回っています。
春に向けてますます二羽から目が離せません！



二枚ともひかる 伊藤・田野撮影

これからの施工について

東部幹線排水路側遊水池のブロックが積み終わり、底張りコンクリートを順次
進めています。与良川側遊水池は上流部分の連節ブロック積みと底張りコンク
リートが完了したので、高密度ポリエチレン管を下流に移し、これから下流部分
の連節ブロック積みに取り掛かります。貯油タンクの基礎コンクリートが完了、
これから貯油タンク本体を設置します。

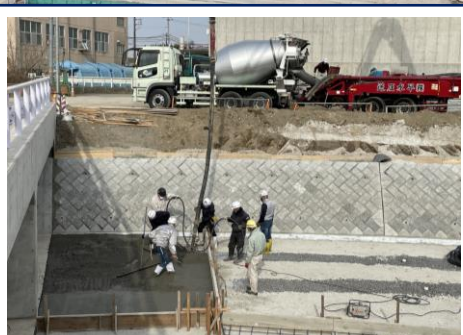
渡良瀬遊水地

東部幹線排水路

西部幹線排水路



1 貯油タンク基礎コンクリート打設



2 底張りコンクリート打設

～鬼面射弓で悪霊退散～ しらとりはちまんぐうこしきさいれい 白鳥八幡宮古式祭礼

2/1 白鳥八幡宮にて執り行われた古式祭礼に、
当社2名（田野、爲田）も参加しました。
鳥居に取り付けた鬼面に矢を放って、悪霊を祓う
「鬼面射弓」が特徴で、一説には17世紀から続く
※頭屋制の名残をとどめる貴重なお祭りです。
※頭屋制 神事や行事の世話人またはその家のこと

白鳥八幡宮本殿での神事



鬼の目に狙いを定めます



爲田

※ 毎年恒例の提灯行列はコロナ禍のため今年は実施しませんでした

参考文献：小山市の文化財（無形民俗文化財）https://www.city.oyama.tochigi.jp/soshiki/5/1772.html

～鎌倉幕府成立の立役者～ さんがわに かいき 寒川尼 795回忌

寒川尼は小山氏開祖政光の妻で、源頼朝の
乳母もつとめ野木宮合戦（1182年）で源氏と
小山氏の間をとりまとめた功績がみとめられ、女性では
当時珍しく地頭として寒川郡と網戸郷をおさめていました。
2/4 大久保前小山市長と小山氏末裔の方々とお墓参りに
当社田野も同行させて頂きました。



寒川尼のお墓



参考文献：小山市 市政60年記念「小山の歴史」

今回続けてこのような機会を頂き大変光栄です。地域文化の継承にご尽力されている白鳥地区の皆さん、大久保前市長に心より敬意を表します。

わたしたちの暮らしに欠かせない
日本の 農業と水の歴史

シリーズ⑤
関東平野の大改造が
天下泰平の土台！
江戸時代



関東の地は徳川家康が統治を始めたころは約250万石でしたが、幕末にはなんと
約440万石まで増えました。いったいどのように発展していったのでしょうか？
※江戸時代は米の収穫量で経済規模を量っていました（1石＝約150kg）

～利根川の瀬替え（東遷）・新田開発ブーム～ 大規模な土木工事を施した

江戸時代以前、利根川や渡良瀬川は
江戸湾（東京湾）にそのまま注ぎ、
とても多くの水害が発生しました。
その流れを大きく東に付け替える
大改修工事を伊奈忠次・忠治親子が
二代にわたりなしとげました。
併せて新田も次々と開発されました。



川の流れが
全然違うね！

引用：国交省霞ヶ浦河川事務所HP

のうみん どうせい つよ 農民の統制を強めた

「士農工商」の身分制度が定められ、
農村は※村方三役を中心とした
行政組織としてまとめられました。
※村方三役・・・名主・組頭・百姓代

のうきぐ しんか 農機具が進化した

武器をつくる技術が流入し、
この時代数多くの新しい農機具が
発明されました。



引用：山川出版社「新もういちど読む山川日本史」

参考文献
・山川出版社「新もういちど読む山川日本史」
・関東農政局 3.水をめぐる混乱【「農」と歴史】 https://www.maff.go.jp/kanto/nouson/sekkei/kokuei/ryoso/rekishi/03.html
・荒川上流河川事務所「伊奈一族の治水」
・山川出版社『『新日本史』第8章幕藩体制の展開』・室町・戦国・安土桃山・江戸時代・幕府の歴史・クボタ https://www.kubota.co.jp/kubotatanbo/history/formation/generation_03.html